



軽石製組合式石棺



短甲・衝角付冑



勾玉・管玉



絵画土器

古墳時代は、今から約1700年前から1400年前までで、古墳が作られ始めてから、作られなくなるまでの時代です。鹿屋市にも岡崎古墳群や上小原古墳群など、一般的な古墳も存在しています。

古墳時代の出土品は、象嵌装大刀の外に西祓川町の祓川地下式横穴墓群から出土した県指定文化財の「短甲・衝角付冑」や吾平町の宮ノ上地下式横穴墓群出土の「軽石製組合式石棺」、串良町岡崎古墳群出土の勾玉・管玉などのお墓からの出土品、吾平町の名主原遺跡出土の県内初の人間を表した絵が描かれた「絵画土器」などがあり、鹿児島県を代表するものが多数見つかっています。

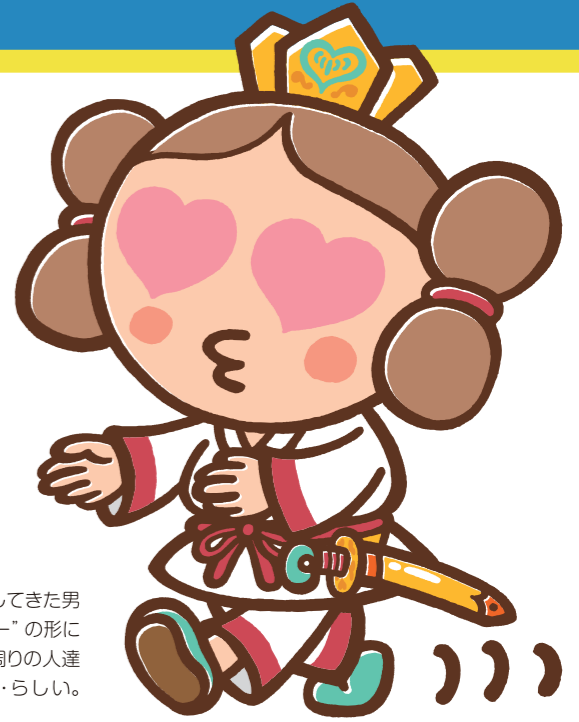
## 「古墳時代」



# ラブヒコと行こう！ 鹿屋の歴史 タイムスリップ！

## 「ラブヒコ」

鹿屋に残されている史跡や遺物などを子ども達に紹介するために、古墳時代からタイムスリップしてきた男の子。象嵌装大刀を持ち目の形は象嵌装大刀の文様の特徴でもあるハート形に、また口は「チュー」の形になっています。人を見かけると「ハグ」を求めて行きます。人が大好きで、誰彼構わずハグをし、周りの人達に愛を振りまき幸せをもたらします。ラブヒコに抱きつかれた人には幸運が訪れる・・・らしい。



## 「縄文時代」

縄文時代は今から約13000年前から23000年前までとされています。縄文時代は、まだ鹿屋では米作りは行っておらず、人々は狩猟を行い、どんぶりなどを食べていたと考えられています。

縄文式土器は、縄目の模様が入っていることからその名が付けられました。また、南九州では、貝殻を使って模様を付けている土器が多く見られます。



縄文式土器



土器の出土状況



王子遺跡の復元住居跡



弥生式土器

## 「弥生時代」

弥生時代は今から約2300年前から1700年前までとされています。弥生時代になると、縄文時代の終わり頃に北部九州に伝わった米作りを行うようになり、人々はムラを形成し、定住化していたとされています。鹿屋市王子町の王子遺跡からは、たくさんの竪穴住居跡が見つかっています。

弥生式土器は、縄文式土器より丈夫で大きく、表面の文様をあまりつけていません。



## 「神話時代」

吾平山上陵は、日本の初代天皇「神武天皇」の父君「うがやふきあへすのみこと」と母君「たまよりひめ」のお墓とされていて、全国的にも珍しい岩の洞窟を陵墓としています。



吾平山上陵

## タイムスリップから わかること

鹿屋市は、古くは神話時代の歴史遺産があり、縄文時代・弥生時代・古墳時代とずっと人々が生活していた跡が数多く残っていて、悠久の歴史を感じることができるまちです。象嵌装大刀は「歴史のまち鹿屋」の礎を築きあげてきた古代人たちが、今を生きる私たちに郷土の歴史を再認識させるために長い間発見されるまで待っていたのかもしれないね。

鹿屋の歴史を調べると、面白いことがいっぱい!!

